

決 議



今日、地球規模で「食料」や「水」のひつ迫、石油等の「エネルギー」の枯渇が懸念されるなか、我が国の食料自給率の向上と持続可能な農業農村のためには、「食料自給力の向上と安全安心な食料の安定供給」「農業の体質強化と持続的発展」「農村地域の活性化と都市農村交流の促進」を同時に実現していくことが求められている。

このためには食料生産と国土保全の根幹を担う農地・農業用水の適正な維持管理と更なる高度・効率的な利活用と、担い手の育成・農村地域の活性化・地域資源の良好な管理活用などを図る必要がある。

しかしながら国においては、平成21年度補正予算の見直し及び平成22年度予算において農業農村整備関連予算を大幅に削減したところであり、急激な予算の削減は関連事業の長期化、中止などを招くとともに、関係農家に大きな不安を与えるものである。

農業農村の再生は、戸別の所得補償だけでは展望が開けるものではなく、生産基盤や定住環境の整備などと連携しながら取り組むべきものである。

生産基盤である農地・農業用水等を質的・量的に良好な状態で確保し次世代に継承していくことは喫緊の課題であり、我々「水土里ネット」が担っている重要な使命である。

我々「水土里ネット」は、これまで培ってきた経験と技術を活かし、活力ある農村社会の構築と本県農業の体質並びに供給力の強化に、積極的に貢献していく覚悟である。

このため下記事項の実現を図るため、一致団結して、農業農村整備を推進していくことを本総会の名において決議する。

記

- 一、国民の必要とする食料を将来に亘って、安全で安定的に供給するため国は必要な予算を確保すること
- 一、農地、農道及び農業水利施設等の農業生産基盤の整備は食料の安定供給に不可欠であるから国と地方の適切な役割分担のもとで、計画的に推進していくこと
- 一、老朽化が進む農業水利施設の計画的な更新と適切な保全管理を推進するなど、国はその責務を十分に果たすこと
- 一、農村は日本人の心のふる里で、いやしの場であるとともに地域共同体として農業生産力の源であり、自然景観保全、防災等の多面的機能を有していることから農地・水・環境保全向上対策を始めとする諸対策の充実を図ること
- 一、「水土里ネット」が取り組んでいる水土里情報利活用促進事業は農家戸別補償の実施に当たり極めて有効な農地情報のデータベースであることからその活用に努めること
- 一、頻発する災害への対応力を強化し安全・安心で快適な農村づくりと定住化を図るため、農地・農業用施設の防災対策と耕作放棄地の解消並びに中山間地域の総合的振興等に取り組んでいくこと

平成22年3月19日

秋田県土地改良事業団体連合会 第52回通常総会
(水土里ネット秋田)

全国水土里ネット

第52回通常総会

■ 本会・高貝会長が理事に選任される

3月26日、日本都市センター(東京都)で、都道府県水土里ネットの関係者が出席して全国水土里ネット第52回通常総会が開催された。

総会は、提出議案の平成20年度事業追加報告及び収入支出決算、平成21年度事業中間報告及び収入支出補正予算、平成22年度事業計画及び収入支出予算などの審議が行われ、提出議案はいずれも賛成多数で議決された。

また、役員の新補欠選任が行われ、本会の高貝久遠会長を始め6名が新たに理事に選任された。

◇平成22年度事業計画【重点項目】

- ①食料自給力向上に資する農地の確保と高度利用の推進
- ②継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備の推進
- ③土地改良施設の適正な維持管理体制の充実強化と多様な主体の参画促進
- ④農地と土地改良施設の高度利用のために必要なソフトインフラ整備の推進
- ⑤水土里ネットの時代に応じた役割と使命の在り方の検討
- ⑥農村の地域資源と田園環境の維持増進につながる活動の充実強化
- ⑦食料基盤確保と農村地域資源の保全等に係る国民合意に向けた広報活動の推進

第51回全国土地改良功労者表彰

並びに

平成21年度農業農村整備優良地区コンクール表彰

3月26日、シェーンバッハ砂防(東京都)で、第51回全国土地改良功労者表彰並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰の表彰式典が開催された。

全国土地改良功労者表彰は、永年にわたり土地改良事業に尽力され、功績が認められた土地改良関係者(優良団体・個人)が表彰されるもので、今回は、農林水産大臣表彰の優良土地改良区が5地区、全国水土里ネット会長表彰として、金章36地区、銀章60地区、銅章45地区、さらに、個人96名が表彰され、本県からは、金章の本荘東由利土地改良区を始め、4地区、4個人が表彰された。

農業農村整備優良地区コンクール表彰は、農業農村整備事業の実施を契機として、優れた成果が見られ、他地区への波及効果が顕著であって先進的事例としてふさわしい地区が選定されるもので、農業生産基盤整備部門12地区、農村振興部門

5地区が表彰され、本県からは、北秋田市鷹巣土地改良区の「坊沢地区」が表彰された。

なお、本県関係の受賞は次のとおり。

◆全国土地改良功労者表彰

【優良土地改良区表彰】

- ◇金章：本荘東由利土地改良区◇銀章：秋田県仙南土地改良区・大館市南土地改良区
- ◇銅章：二ツ井町土地改良区

【個人表彰】

- ◇信田勇一(秋田県仙北平野土地改良区総括監事)◇伊藤礼二(山本郡藤里町藤琴土地改良区理事長)◇藤澤幸遠(秋田県田沢疏水土地改良区事務局長)◇高山陽二郎(湯沢市中央土地改良区事務局長)

◆農業農村整備優良地区コンクール表彰

【農業生産基盤整備部門】

- ◇全国水土里ネット会長賞：「坊沢地区」北秋田市鷹巣土地改良区

平成21年度

農用地等集団化優良地区等表彰

「坊沢地区」が東北農政局長賞を受賞

3月17日、「KKRホテル仙台」(宮城県)において、平成21年度農用地等集団化優良地区等表彰式が行われた。

表彰式では、東北管内の農林水産大臣賞1地区、東北農政局長賞3地区の表彰に続き、東北農業農村整備推進協議会長賞(優良地区並びに功労者)の表彰が行われ、また、後日に表彰される全国農地集団化協議会長賞(優良地区並びに永年勤続者)の紹介も行われた。

本県関係の表彰地区は、東北農政局長賞が「坊沢地区」、東北農業農村整備推進協議会長賞が3地区であった。

■東北農政局長賞

「坊沢地区」(北秋田市鷹巣土地改良区)

■東北農業農村整備推進協議会長賞(優良地区)

「杉沢地区」(秋田県南旭川水系土地改良区)

「大沢地区」(河辺土地改良区)

「女米木地区」(雄和中央土地改良区)



なんと借入団体負担率が **0.525%!!**

土地改良事業振興基金制度のご活用を!

本会会員が土地改良事業を円滑に推進するため、補助金・公庫資金・賦課金等の受領までに一時的に必要となる「つなぎ資金」を、低利かつ速やかに融資することを目的としており、平成22年度は以下のとおりとなりますのでご活用下さい。

【債務保証限度、期間及び負担利子】

資金別	保証限度	保証期間	借入利率	利子補給率	借入団体負担率
災害応急資金	出資金額の10倍	12ヵ月以内	2.000%	1.475%	0.525%
補助金	出資金額の30倍	6ヵ月以内	2.000%	1.475%	0.525%
農林漁業資金					
災	0.80~1.70%資金	出資金額の30倍	3ヵ月以内	2.000%	-
非	1.70%資金				
団	1.70%資金				
県	1.75%資金				
団体運営資金(賦課金)	出資金額の10倍	8ヵ月以内	2.000%	1.475%	0.525%

〔取扱金融機関〕北都銀行本店

窓口は総務企画部広報・渉外班となります。
TEL.018-888-2726

平成22年度 秋田県関係機関の紹介

秋田県は4月1日付けで、平成22年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次の通りになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・参事・課長等の紹介(H22.4.1現在)

部長	三浦 庄助
森林技監	猪島 康浩
次長	藤井 英雄
次長	伊藤 淳
次長	池田 光晴
次長	清野 弘久
農林水産技術センター所長	菅原 仁司
参事	鈴木 誠
参事	金澤 千昭
参事(兼)水田総合利用課長	工藤 正義
参事(兼)林業木材産業課長	沓沢 了介
農林政策課長	奈良 博
農林政策課政策監	森屋 哲次
農地整備課長	菅原 徳蔵
農山村振興課長	保坂 龍弥
農山村振興課農山村ビジネス推進監	吉尾 聖子
団体指導室長	田中晋太郎
流通販売課長	照井 義宣
農畜産振興課長	佐藤 博
家畜生産対策室長	土田 正広

水産漁港課長	中村 彰男
森林整備課長	福井 敬二
森林整備課政策監	小川 正
農林水産部課長待遇	藤原 隆則

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

[鹿角地域振興局]

◇局長：三ヶ田良三 ◇農林部長：倉部明彦

[北秋田地域振興局]

◇局長：川原幸徳 ◇農林部長：渡辺兵衛

[山本地域振興局]

◇局長：加賀屋建一 ◇農林部長：宮崎一彦

[秋田地域振興局]

◇局長：森田新一郎 ◇農林部長：工藤孝夫

[由利地域振興局]

◇局長：伊藤邦夫 ◇農林部長：篠田信行

[仙北地域振興局]

◇局長：保坂 進 ◇農林部長：伊藤盛徳

[平鹿地域振興局]

◇局長：青木 満 ◇農林部長：柳原 守

[雄勝地域振興局]

◇局長：金田早苗 ◇農林部長：進藤 健

【その他関係部署】

生活環境部

次長

川村 文洋

八郎湖環境対策室長

佐々木次郎

建設交通部

技術管理室技術管理監

松橋 久光

出納局

参事

村上 克朗

新任のごあいさつ



秋田県農林水産部長

三浦 庄助

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日ごろから農林水産行政、とりわけ農業農村整備事業の推進につきまして、格段の御理解と御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年末の政府予算内示では、農業農村整備事業費が大幅に削減され、事業を契機とした農業生産法人の設立や、地域農業の存続をかけて地域一丸となって取り組もうとしている営農計画などへの影響が大変心配されましたが、要望した平成22年度当初予算については、ほぼ満額確